

	洋	書	取	集
		落	穂	拾
			い	

——「ダブス・プレス本」余話——

当館では『ケルムスコット・プレス本』について、これとならぶ私家版の白眉『ダブス・プレス本』のほぼ完全揃いを比較的最近購入した。その折のおはなし。

発端は1983年半ば。X書店の西洋古書展示即売会のカタログ中に「ダブス・プレス印行本完全揃い 1900—16, 51点」とあるのを発見、早速書店側に希望を申し入れた。正規の購入決定以前に、現品の保存状況その他を嚴重にチェックする必要があるので、一度当館に搬入してもらい、図書館学資料室の稲村、堂前両氏に一点一点現物をしらべて頂いた。

保存状態は申し分なく、ダブス・プレス特有の簡素美に輝く名品揃いであった。ところが第50番目刊行のはずの“Literature and science” 1916, 4p. という小冊子を欠いていた。直ちにX書店に照会すると、もとの所有先ロスアンゼルスのH書店では、R・E・コーワン編集のW・A・クラーク・ジュニア文庫『ケルムスコットとダブス・プレス』（サンフランシスコ, 1921年刊）の文中の記述を根拠に、この『文学と科学』は独立のかたちでは刊行されず、ダブス・プレスの最終版＝第3版「刊行書目」（1916年刊）の中からはじめて載った、としているといい、その部分のコピーを持ってきた。つまり50点で完全揃いであると主張した。

当方で再び最終版「刊行書目」を点検したが、これはあくまでも刊行書の目録

にすぎず、第50番目の『文学と科学』の書誌的事項を載せているだけであった。前記コピーの文中では「独立には刊行されなかった」という点を、このプレスの刊行者であるコブデン＝サンダーソン自身の言葉としているので、早速当館が所蔵する同氏の『日記』（ニューヨーク, 1926年刊, 2巻）などを堂前氏を煩わして調べて頂いたがそれらしい証言はなく、またG・S・トムキンソンの私家版についてのビブリオグラフィ（ロンドン, 1928年刊）中では、はっきりと「4頁, 約300部刊行」と出ていることも分かったので、再度X書店側に反論した。同書店はH書店にトレックスを入れ、この点を指摘したが、同じくトレックスの返事で「50番目のものには一度もお目にかかったこともなく、また全米総合目録、英国図書館蔵書目録等にも見出しえないから存在しない」と言い張った。しかし、その論拠は最早や薄弱というほかなかった。

X書店としては、良心的に、最後の判定をオックスフォードで古書籍業もやり、私家版のすぐれた研究者でもあるコリン・フランクリン氏に仰ぎ、『文学と科学』の存在の有無を確かめたところ、「私は独立に刊行されたと信じている。しかし〔この〕パンフレットはダブス・プレスの完全揃いに不可欠とは思わない」という返事を得た。X書店としては「結論ははっきりした。図書館側の御判定にゆだねる」ということであった。

結局、私ども収集担当の側で慎重に検討したすえ、第50番の欠は瑕瑾にすぎない、と判断し、価格面での再交渉と、今後ともまぼろしの小冊子『文学と科学』の探索を将来課題に、購入に踏み切った。

（収集整理部 庄野 新）